

甲 山 探 鳥 会

日 時：2023年5月4日（木・祝） 10時40分～13時頃 （干潮時間：12時12分）

場 所：浜甲子園干潟（集合場所・時間：浜甲子園運動公園前バス停付近・10時40分）

【阪神バス利用の場合：220円 下記バスをご利用下さい。乗用車は近隣に有料駐車場有り】

①阪神甲子園駅/10時06分発⇒く浜甲子園団地行⇒浜甲子園運動公園前/10時18分着

②阪神甲子園駅/10時26分発⇒く浜甲子園団地行⇒浜甲子園運動公園前/10時33分着

【シギチは難しい！】

そもそも「シギチ」とはチドリ目に属しているシギ科とチドリ科の仲間の総称を言います。シギチ観察のベストシーズンは春と秋とされており、やってくる多くは旅鳥で春は繁殖地であるロシアやアラスカの北極圏へ北上し、秋は越冬地の東南アジアやオーストラリアに南下するものが旅の途中の中継基地として国内各所の干潟に立ち寄ります。

この旅鳥の多くは春の旅（南から北へ）と秋の旅（北から南へ）は同じルートかと言えば、そうでは無く、例えばソリハシシギは春はごく少数が見られるだけですが、秋には多くの個体が見られますし、チュウシャクシギは秋よりも春の方がずっと多い様です。

私は・・・「シギチは難しい！」と思いますがその理由を挙げますと。

①大きさ形は違えども大体同じような地味な色が多い。

（キョウジョシギは分かりやすいので好きです。）（写真右）

②同じような大きさ形でも種類が違う。（シロチドリとメダイチドリ・etc）

③夏羽（春期）と冬羽（秋期）で羽色が大きく違う。

理由は大体この辺りですが、やはり一番大きい理由は馴染みが少ないと言う所でしょうか。

今回は食わず嫌いをせずに皆さんとご一緒にチャレンジしたいと思います。



この時期見られそうな鳥（鳥名は山と溪谷社図鑑「日本の野鳥」掲載順）

	マガモ		オオバン		トビ
	カルガモ		コチドリ		ハシボソガラス
	ハシビロガモ		シロチドリ		ハシブトガラス
	コガモ		チュウシャクシギ		ツバメ
	ヒドリガモ		イソシギ		ヒヨドリ
	ホシハジロ		キアシシギ		ウグイス
	スズガモ		キョウジョシギ		ムクドリ
	キンクロハジロ		ハマシギ		スズメ
	カイツブリ		ユリカモメ		イソヒヨドリ
	カンムリカイツブリ		ウミネコ		ハクセキレイ
	カワウ		カモメ		
	アオサギ		セグロカモメ		
	ダイサギ		コアジサシ		
	コサギ		ミサゴ		

出典：文一総合出版「BIRDER」2019年3月号 森永啓司

（注1）特に昼食時間は設けませんので、各自でお取り下さい。

（注2）トイレは観察場所から少し離れて2か所あります。

（注3）参加されます方は名札の着用をお願い致します。